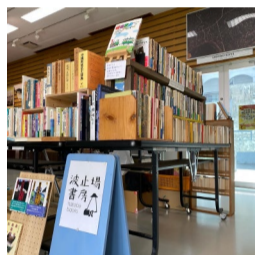


與那原驛舎新聞

旅本マルクト& オクトーバーフェスト 開催しました

10月21日と22日に与那原駅旅本マルクト&オクトーバーフェストを開催しました。
2日間とも天気に恵まれ、町内外から多くの方に足を運んでいただき、とても楽しい2日間となりました。
屋内では旅に関する書籍や



2023
11 月号

【発行所】
軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

絵本、ゆいレールのグッズ、与那原モチーフの雑貨を販売。
屋外では県鉄開通式でビアカナミ、県内のクラフトビール店を中心にコーヒーショップや占いが出店。
秋晴れの空の下、ビールやコーヒーを片手に購入品を広げ、おしゃべりしたりと思いたい時間を過ごしてもらえたようです。参加者からも「気持ちのいいイベントだね」とのコメントもいただき、嬉しい限りです。

新グッズの紹介

今月より、駅名標岳バジルの新駅(嘉手納・糸満)および路線図クリアファイルの販売開始しました。駅舎内にて購入可能ですので、ぜひご覧ください。



駅舎コラム⑥

貨物輸送と県鉄

沖縄県鉄道は、旅客輸送だけでなく貨物も取り扱ってまいりました。その代表的なものがサトウキビです。現在でも製糖期になるとサトウキビを満載したトラックが走っていますが、当時は県鉄もその役割を担っていました。
当時の貨物取扱の規定をみると、多種多様な物品が載っています。なかでも興味深いのが新聞。かつて鉄道による

イベントのお知らせ

沖縄県鉄道の開業日である12月1日を記念して、12月9日(土)、10日(日)にイベントを開催します。今回はパネル展のほか、ミニシンポジウム(9日)や与那原線跡ウォーク(10日)など、鉄道中心のイベントになる予定です。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。詳細は公式サイト等で追ってお知らせします。

広報誌連載のお知らせ

広報よなばる11月号より当館のコラム「駅舎通信」の連載がスタートしました。県鉄や鉄道について書いていきますので、ぜひ一読ください。

新聞輸送は全国的に行われており、現在でも一部で残っているようです。沖縄県鉄の規定では「新聞紙および雑誌の運賃はkm程の遠近にかかわらず重量1kgにつき1銭5厘、最低運賃5銭とす」とあり、距離に関わらず重さで運賃が決まったようです。あくまで規定があるだけで実際に輸送をしていかは今のところ不明ですが、県内紙が他府県同様に鉄道輸送されていた可能性を考えると戦前の印象が変わる気がします。(学芸員K)



与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師

公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>

